

	令和5年度行政事業レビューシート					(文部科学省)	
事業名	卓越研究員事業			担当部局庁	科学技術・学術政策局		作成責任者
事業開始年度	平成28年度	事業終了 (予定)年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課		人材政策課長 生田知子
会計区分	一般会計						
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-			関係する 計画、通知等	・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～フォローアップ(令和4年6月閣議決定) ・統合イノベーション戦略2022(令和4年6月閣議決定) ・第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定)		
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化			主要経費	科学技術振興費		
施策	8-1 科学技術・イノベーションを担う人材力の強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf						
事業の目的 (5行程度以内)	新たな研究領域に挑戦するような若手研究者が安定かつ自立して研究を推進できるような環境を、産学官を通じて実現するとともに、産業界をはじめとして、若手研究者が活躍し得る新たなキャリアパスを提示すること。						
現状・課題 (5行程度以内)	近年、若手研究者が、新たな研究領域に挑戦し、独創的な成果を出すことができるような安定した雇用環境に置かれていない(※1)ことや、産学官のセクター間を越えた研究者の流動性が低く(※2)、人を介した知の移転がなされず、世界規模での急速な産業構造の変化への対応が困難となっていることが指摘されている。 一方、人材の育成・活躍促進や多様性の確保に向けては、大学や公的研究機関、企業等が、組織として人材育成やキャリア形成に強い責任感を持って取り組むことが重要であり、若手研究者自身も、自らのキャリアパスは自ら切り拓くものとの意識を持ち、自らの持つ能力を高め、社会の様々な場でその能力を発揮していくことが求められてる。 ※1: 科学技術の状況に係る総合的意識調査2022(NISTEP)のうち、「実績を積んだ若手研究者の無期雇用の拡充」の指数は3.6(「十分ではないとの認識」) ※2: 科学技術指標2022(NISTEP)によると、大学に流入する研究人材のうち企業から流入する割合は5.5%、公的機関から流入する割合は24.8%						
事業概要 (5行程度以内)	産学官の研究機関に対し、本事業の要件を満たすポストの募集を行うとともに、新たな研究領域への挑戦や、新たな研究の場での研究活動に意欲的に取り組む若手研究者に対し卓越研究員の公募を実施し、意欲や柔軟性を有し、新たな研究領域の開拓等を実現できるような若手研究者が、産学官の研究機関において安定かつ自立した研究環境を得た場合に、当該研究機関に対し、研究費(2年間)及び研究環境整備費(5年間)等の支援を行うことで、優秀な若手研究者と質の高い研究環境を提供するポストとのマッチングを後押しし、社会全体における安定かつ自立した研究環境の構築に向けた取組の促進を図る。なお、研究者と機関とのマッチングのために当事者間交渉支援に係る調査も行う。						
事業概要URL	https://www.mext.go.jp/a_menu/jinzai/takuetsu/index.htm						
実施方法	委託・請負、補助						
補助率等	補助対象: 大学、国立研究開発法人、企業等 補助上限額: (研究費)800万円/年・人、(研究環境整備費)200万円/年・人 ※別途、国外機関からの採用等の条件を満たした場合の追加支援あり						
予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット)			令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求
	予算の 状況	当初予算(A)	1,578	1,092	663	518	518
		補正予算(B)	-	-	-	-	
						-	
						-	
						-	
						-	
						-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	
		予備費等(E)	-	-	25	-	
	計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	1,578	1,092	688	518	518	
	執行額(G)		1,093	940	688		
	執行率(%) =(G)/(F)		69%	86%	100%		
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]		69%	86%	104%			
令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)		研究振興費		重要政策推進枠 149百万円		
	(目)	科学技術人材育成費補助金	486	486			
	(目)	科学技術人材養成等委託費	30	30			
	(目)	職員旅費	1.0	1.0			
	(目)	委員等旅費	0.2	0.2			
	(目)	諸謝金	0.1	0.1			
	(目)	庁費	0.1	0.1			
		その他	1	1			
	計(A)		518	518			

活動内容① (アクティビティ)		優れた若手研究者が産学官の研究機関において安定かつ自立した研究環境を得て自主的・自立的な研究に専念できるよう、①受入希望ポストの募集・選定・公開、②卓越研究員候補者の公募・審査・決定、③当事者間交渉、④卓越研究員の決定、⑤研究機関に対する研究費等の支援を行う。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		当初見込みの9割を上回る人数の若手研究者を卓越研究員として採用し、研究費等を支援する。	企業等に採用となった卓越研究員の数 ※当初見込み: 予算積算上の採用予定人数	活動実績	人	40	23	13	－	－
			当初見込み	人	55	20	10	－	－	
↓	成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)	本事業の意義が理解され、研究機関における安定かつ自立した研究環境の整備が進むためには、安定かつ自立した研究環境を保証するポスト及び優秀な研究者の応募があることと、そのマッチングが適切に機能することが必要であることから、マッチングの状況を踏まえ、事業の制度設計を変更するなど、事業の改善方策の検討を行うことを想定している。 なお、本事業においては、研究費等の支援の対象とならないポストへの波及効果もあわせて、社会全体で研究環境の改善が図られることを目指しており、優秀な研究者の応募実績や卓越研究員として採択された者が研究成果を挙げる実績の増加に伴い、国による費用支援がなくても、研究環境を整え優秀な研究者とのマッチングを希望する研究機関が増加することが望ましいことから、本事業による研究費等の支援がないもののマッチングの状況もあわせて把握し、制度全体の改善に生かすことを想定している。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4 年度	
		本事業において提示される安定かつ自立した研究環境を保証するポストと若手研究者とのマッチング(本事業による研究費等の支援のないものを含む)が増加する。	卓越研究員事業において公開されたポストに就いた若手研究者の数 ※目標値: 本事業において研究費等の支援対象となる卓越研究員の予算積算上の採用予定人数	成果実績	人	53	30	19	19	
				目標値	人	55	20	10	10	
				達成度	%	96.4	150	190	190	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) / 定性的なアウトカムに 関する成果実績		本事業の年次報告等								
↓	成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)	本事業においては研究機関に対し安定かつ自立した研究環境を保証できるポストの提示を求めている、実際に本事業において提示されたポストにおける研究環境の状況を踏まえ、本事業の趣旨を踏まえたポストの提示・研究環境確保が行われているかを確認し、必要に応じ、事業の制度設計を変更するなど、事業の改善方策の検討を行うことを想定している。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 － 年度	
		本事業において提示されたポストにおいて、安定かつ自立した研究環境が実現される。	本事業において採用された卓越研究員について、安定かつ自立した研究環境が実現されている者の割合 ※目標値: 前年度実績値	成果実績	%	84.9	84.6	88	－	
				目標値	%	－	84.9	84.9	－	
				達成度	%	－	99.6	103.7	－	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) / 定性的なアウトカムに 関する成果実績		本事業において実施する「研究活動状況追跡調査結果」(https://www.jsps.go.jp/j-le/data.html)の「〇研究活動状況について」の各項目の数値の平均値を実績値としている。また、前年度において実績値が目標値を下回っている場合、前年度の目標値を当年度の目標値とする。								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		－								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
		－								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称	－								
	URL	－								
	該当箇所	－								

[illegible]

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位：百万円)



